

東奥日報

2024年(令和6年)9月27日(金曜日) (23)

「特定技能」在留資格取得

八工大が支援 ミャンマー人7人



修了証を手に坂本学長(左から4人目)と記念撮影する修了生たち

来月から県内外企業で就労

八戸工業大学は26日、本年度開講した「外国人特定技能エンジニアプログラム」の1期生の修了式を同大で行った。人手不足の分野でエンジニアとして活躍するため、ミャンマーから来日し半年間にわたり勉学に励んできた7人は、技能評価試験に合格して「特定技能1号」の在留資格を取得。来月から県内外の企業で念願の就労を果たす。

◇(千葉真由美)

4月に1期生として入学した8人のうち、自動車整備分野の4人、建設分野の3人が修了式を迎えた。特定技能は最長5年働ける1号と、熟練技能を要し、家族の帯同が認められ事実上永住もできる2号があり、7人は今後、働きながら2号の取得を目指す。

修了式で坂本禎智学長は、代表のカウンセッサン(建設分野)に修了証を手

渡し「皆さんがこれから特定技能分野の産業を支える人材としてさらに成長し、活躍することを願う」とあいさつ。修了生を代表し、来月から青森トヨペット

(青森市)で働くワーワーアウンさん(自動車整備分野)が、慣れない日本での生活を支えた地域住民や大学の教職員らに感謝し「これからも自分たちの夢の実

現に向けて頑張る」と力強く語った。同大によると来月、2期生として工業製品製造分野にミャンマー人11人が入学する。

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」